

社会福祉法人 広寿会
令和 5 年度 事業 計画

1 基本方針

1. 介護保険制度の基本理念である個人の尊厳を保持し、要介護状態になっても可能な限り、その住み慣れた環境でその有する能力に応じた自立した生活を営むことができるようサービスの提供を行っていく。
2. 地域における福祉サービスの拠点としての役割を果たし地域包括ケアの一端を担えるよう、当法人においても地域の活動に参加し、地域に必要とされる施設となるべく努力していく。
3. より良い人材の確保、職員の専門性や技術の向上を図り、働き甲斐があり働きやすい職場環境を作っていく。

2 事業計画

1 感染症や防災、防犯への対応力強化

感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を継続していく。

ア 感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みを徹底する。

イ 業務継続に向けた計画等を必要に応じて見直し、研修、訓練を継続する。

ウ 災害時の避難訓練を地域住民の参加が得られるよう再構築を図る。

エ 犯罪を未然に防ぐための設備を充実させる。

2 地域貢献事業の推進。

コロナ禍が続き、地域における取り組みがほとんど出来なかったが、次年度は従来の取組みを基に新たな方法で再構築していく。

ア 地域に開かれた施設を目指し、地域の行事を通じて、地域で暮らす高齢者や障がい者等と住民の交流を深め、地域福祉の向上を図る。

イ 地域住民を対象とした研修会を進め、地域の福祉に貢献する。

ウ 総合的な支援ができるように、地域包括支援センター、地域の医療機関、民生委員等との連絡を密にしていく。

エ 足原校区の健康福祉部会や防災会議などに参加し、情報の発信・共有を図り協力体制を構築していく。

オ まち美化活動、防犯パトロールなどに参加し、法人を身近な存在として位置づける努力をする。

3 人材確保、育成のための対策

1 働き方改革の推進

- ア 勤怠管理を行い、長時間労働をなくす。
- イ 雇用形態に関わらない公正な待遇を確保する。
- ウ 多様な人材、多様な働き方、多様な採用方法を取り入れる。
- エ 育児・介護休業法、パワハラ防止法、女性活躍推進法等の法改正に対し、積極的に取り組んでいく。
- オ 介護ロボット、ICT等の活用により職員、利用者の負担の軽減を図る。

2 職員のキャリアアップを図る

- ア 「資格取得支援制度」、「介護福祉士実務者研修（施設内）」を活用して資格取得を支援する。